

■議事（1） 作業の進め方について

第1回村上市市民憲章等審議会（5月28日開催）から

課題1 委員それぞれが市民憲章に込める「思い」を持っている

- ・子供たちに村上市の目標を伝えなければならない
- ・豊かな自然をアピールすべき
- ・いつまでも変わらない、帰るべきふるさとであるように
- ・憲章文のスタイルを変えたらどうか
- ・すべての物事が人ありき、人とのつながり
- ・言葉はアクション（行動）が伴ってこそ、力となる



村上市市民憲章等審議会

新市「村上市」への「言葉」、「思い」をキーワードにして
委員から出してもらう機会を設定

課題2 市民憲章づくりの鍵 憲章文スタイルはとても重要

- ・憲章文の文章スタイルが決まると、すべての作業がしやすい
文章スタイルにも「長所」と「短所」がある
「子どもたちに読まれる」わかりやすさの鍵は、文章スタイルが握っている
- ・市民憲章を設計していくと、次のように考えると進めやすい
「スタイル」→「テーマ」→「言葉（キーワード）」
「テーマ」の例 「豊かな自然を後世に伝える」「次世代を担う人づくり」など



村上市市民憲章等審議会

スタイルの選択について、委員から意見を聴取